

8月6日(火)発行

15
YEARS
1904-2019

ミュ-ザ開館 15周年!

ほぼ

日刊サマ-ミュ-ザ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



©青柳聡

暑さを見事に吹き飛ばす! 仙台フィル、ミュ-ザ初登場

【8/4:仙台フィルハーモニー管弦楽団】

目も眩むような猛暑の午後だったが、チケットは完売になったという。

ステージに登場したのは、このフェスタに初めて地方オーケストラとして招かれた、仙台フィルハーモニー管弦楽団だ。指揮は同楽団のレジデント・コンダクター、高関健である。プログラムは、ストラヴィンスキーの「サーカス・ポルカ」、チャイコフスキーの「ヴァイオリン協奏曲」と「交響曲第4番」。

編成はそう大きい方とはいえな(第1ヴァイオリン12)が、音量も風格もスケール感も充分、交響

曲では劇的なクライマックスをどうこうと響かせた。アンサンブルには少々寛いだ(?)ものが感じられなくもなかったが、曲のあちこちに新鮮な響きが生れていたりして、勢いのいい演奏が楽しめたのはたしかだ。ただ、敢えて付言すると、ホームグラウンドの仙台での定期公演で聴くこの仙台フィルは、もう少し緻密な演奏をするオケなのだが。

同日のステージでもう1人、圧倒的な拍手を浴びたのは、協奏曲でソロを弾いた郷古廉だった。骨太で強靱な、切れ味のいい演奏で、この曲からありきたりの甘

美さの代わりに、堂々とした力と風格とエネルギーを引き出したのである。彼がアンコールで弾いたイザイの「無伴奏ソナタ第5番」の第1楽章も、稀に聴くような豪華な力にあふれた演奏だった。

高関と仙台フィルが最後にアンコールとして演奏したのは、チャイコフスキーの「悲愴交響曲」第3楽章の「抜粋」である。前半の大部分をカットし、後半の頂点に巧く繋げていたのが面白い。シンバル2対を炸裂させる威勢のいい演奏で、暑さを見事に吹き飛ばしてくれた。

(東条碩夫/音楽評論家)



終演後、ミュ-トンと一緒に記念撮影。
高関健(左)&郷古廉(右)

来場者の声

本当に凄い演奏でした。ソリストとオケが互いに半身であるかのように、ソリッドな一体感がありました。久しぶりに本気で泣きました。チャイコフスキー4番もとても良かったです。鮮烈でした。(40代・あゆ) / 高関&仙台フィル好き♡愛してる☆熱い、濃い、おいしい!! 熱狂しました。昨日は笹かまを食べて、今晚も食べます。(50代・ほっしー) / 仙台フィル、10年以上定期会員ですがこんなに素晴らしい演奏聞いたことがありません。本当に最高でした。仙台に伝えたい。このような素晴らしいホールあつてこそ演奏でした。早くホールができて欲しいです。(50代・しゅがー) / 郷古さんのヴァイオリン協奏曲、もう完璧すぎて何も言えない。美しいフォームで最後まで素晴らしかったです。アンコールのイザイも!! 仙台フィルの管が絶好調。最高のチャイコフスキーとっても良かったです。(50代・北十字) / 我がふるさと仙台に、こんなにもエネルギッシュで楽しい楽団があることは私の誇りであり励みです! 心から楽しめたひとときでした。またミュ-ザに来てくださいね!! 仙台フィル最高だっ! ぐつときたよ。(30代・かんざえもん) / 来年も来て欲しい。演目がとても良く楽団とも合っていた。初めて聴いたけどとても良かった。最高でした!!! (10代・とある高校生A) / 最高に楽しかったです!! 仙台フィルさん毎年来てほしい! どうもね(20代・ろみー) / 遠来のオーケストラも素晴らしかったが、それを迎えるミュ-ザの聴衆も素晴らしいコンサートだった。/ 客席と舞台の一体感があつて良かった。息をするのを忘れるほど聴き入った。/ 震災で活動休止を余儀なくされたオーケストラとホールが震災を乗り越えて熱い演奏を繰り広げたことに胸がいっぱいです。チャイコフスキーの4番の激しい葛藤から勝利に至る楽想は、復興への希望を見るようにした。またぜひミュ-ザで仙台フィルを聴きたいです。(60代・KAZU)

日本フィルハーモニー交響楽団

~炎のマエストロ+若手ピアニストの熱演~

8/7(水) 15:00開演(11:00公開リハ開場/14:30本開場)

会場:ミュ-ザ川崎シンフォニーホール



NEXT!
サマ-ミュ-ザ
明日の チケット情報



指揮 / 小林研一郎



ピアノ / 藤田真央

- チャイコフスキー:
ピアノ協奏曲 第1番
- ベートーヴェン:
交響曲 第7番

♪ 11:30~公開リハサル
*自由席です。途中入退場不可。
終了後、客席をクローズします。

完売御礼!

*当日券の販売はありません。

【公演Review:8/3出張サマーミュージック@しんゆり!東京交響楽団】

ドイツ音楽三昧、充実の極み!

1964年の秋山和慶のデビューにまで遡る東響の長年のコンビネーションはもはや盤石、誰もが知る名曲を揃え、ソリストには気心の知れた戸田弥生を迎えられたのだからこの日も好演があらかじめ約束されたようなものだった。しかし最近の東響はそんな予定調和を打ち破るから面白い。私の微温い予想をはるかに超えて、外の暑さに負けない熱い音楽が鳴り響いた。

秋山和慶の目配りの良さ、類まれなる造形感覚ははまだ衰えを知らず、秋山の意を汲んだ東京交

響楽団は旺盛な表現意欲で集中度の高い演奏を展開する。そんな秋山と東響双方の従来からの美点に激しさと力強さが加わり、どこをとっても説得的な音楽が生まれた。特にブラームスは冒頭から力のこもった音楽が展開され、間を入れずに演奏された後半2つの楽章の高揚は圧倒的でした。また戸田弥生は、メンデルスゾーンの有名過ぎる協奏曲の魅力を確認した。また戸田弥生は、メンデルスゾーンの有名過ぎる協奏曲の魅力を確認した。また戸田弥生は、メンデルスゾーンの有名過ぎる協奏曲の魅力を確認した。また戸田弥生は、メンデルスゾーンの有名過ぎる協奏曲の魅力を確認した。



“ドイツ音楽の祭典”の趣を見せる「出張サマーミュージック@しんゆり」、次回10日はベートーヴェンだ。若き音楽家たちと神奈川フィルの好演に期待しよう。

(千葉さとし/ライター)



© 藤本史昭

パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



石庫門 上海小籠包 ～赤星に会える店～

★今日は暑気払いで川崎ダイスの石庫門へ。店内は高い天井と黒を基調としたインテリアで落ち着いた雰囲気。さあ乾杯、で運ばれてきたビールを見て感激、そこには燦然と輝く“赤い星”。サッポロラガーにここで出会えるとは。★乾杯のあいさつもうわの空で、琥珀色の液体を喉に流し込む。そうそうこの味、苦みの奥から柔らかさが……★コースの料理も柔らかさの中に歯ごたえある蝦焼売は絶品、北京ダック、エビと卵のふわとろ炒めもグッド。言わずと知れた麻婆丼は赤



坂四●飯店には及ばないにしてもそのピリ辛がクセになる。★結局最後まで赤星を飲み続けてしまったけれど、コスパがいいので再訪も近いかも。(経営管理課 <)

石庫門 上海小籠包
▶ リスト P.15 掲載
📍 川崎DICE
🎁 パートナーショップ特典
**おひとり様
餃子(3ヶ)サービス**

ミュージック公式インスタもフォローしてね!
Instagram
ミュージック川崎シンフォニーホール
旅するミュートン!

♥💬👏
サマーミュージック ミュートン、この日はシティフィルのリハーサルへ。素敵な音にミュートンもわくわく!マエストロ藤岡さんも「音に魂がこめられ歌がこめられた情熱的なドヴォルザーク。シティフィルは凄いテンションと集中力でシベリウスと芥川也寸志交響曲1番も生命力溢れる。本番楽しみ」って言ってた。みんな、コンサートにきてね!
#旅するミュートン #ミュージック開館15周年 #日本のオケを旅して #東京シティフィルハーモニック管弦楽団



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

・年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

き
九ちゃんの
見上げた
かやき
星空
(洞口みはる)

川崎おんがく
かるた製作中
<2019年末販売>

【謹製】15周年でぬくい8000円(税別)
サマーミュージック友の会限定!期間限定!特別価格5000円(税別)シヨールへ

ぞお楽しみに!
(1/0/T)

この「はは日」は、サマーミュージック公演が、や

昨日の感動をお届けします!!
はは日 日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza
年一度のお祭り、サマーミュージック!ホールは勿論、総勢19人のアルバイトたちもワイワイ盛り上がりつつあります。皆さんは「フェスタサマーミュージック」と書かれた青いポロシャツを着た人を見たことがありますか。これは、ホールのスタッフから事務所の職員まで全員着用しています。「全員で協力してフェスタを盛り上げよう!」という雰囲気溢れるのはこのお揃いのポロシャツのお陰かもしれません。
さて、皆さんが今読んでいるこの「はは日」は公演当日にできあがり、公演直前までスタッフ総出でプログラムに挟み込みをしています。一致団結して1500部ほどを完成させます。始める前は膨大に感じるプログラムの山も、皆で力を合わせれば一瞬!……とはいきませんが、やり遂げた時の達成感はひとしおです。
サマーミュージック後半も熱い公演が続きます。これからの「はは日」サマーミュージックもどうぞお楽しみに!

朝刊
スタッフ
日誌